



WAKWAK

発行

代表理事 岡本 茂
〒569 高槻市富田町2丁目 13-8
-0814 ハイツ白菊1F
TEL/FAX 072-693-9005
E-mail: jinken@ba.wakwak.com
URL: http://wak2.jimdo.com

ボードレスアート教室 「わんだーぼっくす」前期が開講します！

芸術と福祉の WAKWAK するコラボレーション

5月11日(土)から前期の教室がスタート



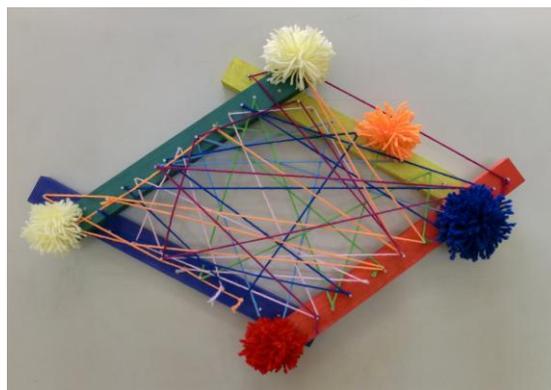
昨年5月からスタートした「わんだーぼっくす」。障がいのあるないの垣根を取り払い、楽しみながら人との交流を通じ、豊かな心を育みながら自己表現を行うことを目的としています。

今年度は新たに定員を16名まで拡大して5月から前期が開講します。

受講生の作品集も発刊

昨年は、受講生の中園晋さんの作品がビッグ・アイ アートプロジェクト2012公募展で入賞を果たし、大阪に続き5月からは東京・横浜での展覧会、6月には韓国での「韓日中障害者美術交流展」にも出展されます。

あわせて、「わんだーぼっくす作品集」も発刊しましたので、ご希望の方は、お問い合わせください。



キリン福祉財団の助成も決定

今年度は新たにキリン福祉財団の助成金事業にも採択されました。

また、高槻市の「市民と行政との協働応援事業」にも採択され、高槻市障がい福祉課および児童療育事業を担当する子ども未来部子育て支援課「カンガルーの森」からの支援もいただけることになりました。

社会福祉法人つながり・つながり後援会ならびに高槻市・教育委員会・社会福祉協議会からは引き続き後援をいただき事業を行います。

わんだーぼっくす フシ体験教室のご案内



日時：5月11日(土)・25日(土)

午前10時～11時30分

場所：高槻市立富田青少年交流センター

定員：16名

締切日：4月30日(水) 午後5時まで

参加費：500円

対象者：小学生以上(介助が必要な方は、介助者の付き添いをお願いします)

持ち物：上靴、透明水彩絵具(あれば)

NEWS

高槻でも市民後見人制度がスタート

—10名の市民後見人バンク登録者が誕生しました—

認知症高齢者や障がい者の権利擁護のための成年後見制度の担い手づくり

2000年に介護保険制度と同時にスタートした成年後見制度。

認知症高齢者の増加や親族後見の減少で、これまでの専門職(弁護士・司法書士・社会福祉士等)に加え、新たな担い手としての市民後見人の役割が増大してきました。

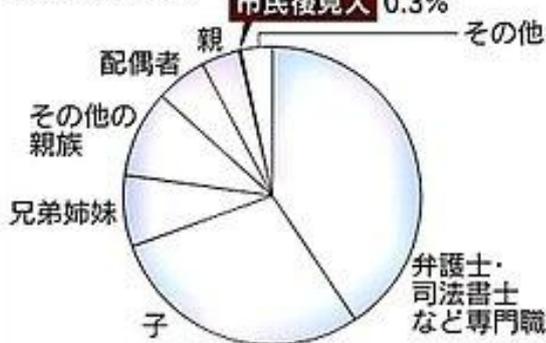


市民後見人の役割

市民後見人は法定代理人として判断能力が不十分となった高齢者や障がい者に代わり、本人の立場に立って財産管理や福祉サービス利用の手続き、場合によっては利用施設との交渉も行います。

専門職ではありませんが、市民目線で権利擁護のための活動を行うのが特徴です。

2011年に成年後見人などになった人と本人との関係



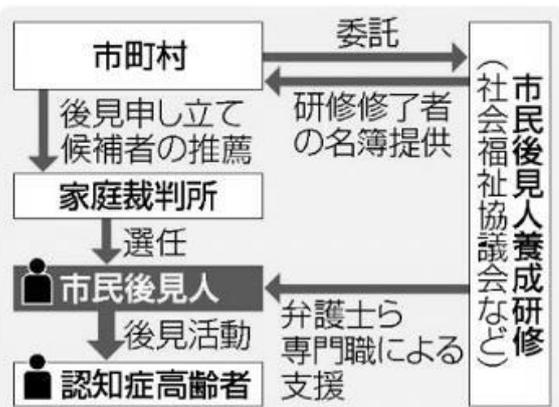
大阪市・岸和田市に続き、今年度は府内9市町でバンク登録



府社会福祉会館での市民後見養成講座修了式

府内では昨年度、大阪府社会福祉協議会が呼びかけ、高槻市・豊中市・岸和田市・富田林市・河内長野市・泉南市・阪南市・忠岡町・岬町の9市町が参加して養成講座を実施。高槻市からは10名がバンク登録されました。

市民後見人の活用体制



市民後見人は報酬を前提としない後見活動

市民後見人が担当するのは身寄りがなく、市長が後見申し立てするケースが主です。市に設置される受任調整会議で市民後見人候補者を推薦し、家庭裁判所から選任を受けて後見人としての活動を行います。

報酬は無報酬、本当に後見が必要な方への権利擁護拡大につながることを期待します。

第9回 芽～人権の芽をみんなで育てよう

日時 5月25日(土) 13時30分～(入場無料)

場所 富田ふれあい文化センター大ホール

唄って踊って平和をつかめ

今年もまーちゃんバンドの魂が響く

主催 青少年自立サポート団体「富田ふれあい義塾」他

後援 一般社団法人タウンスペース WAKWAK 他



新たな人権と福祉のまちづくり構想の具体化へ 先進的まちづくり見学会を開催

タウンスペース WAKWAK と富田まちくらしづくりネットワークが主催して2月19日に「先進的まちづくり見学会」を実施しました。

見学会には富田地区の自治会、老人会役員、社福つながり後援会家族会ひだまりのみなさんはじめ22名が参加。堺市の泉北ニュータウン榎塚台地区と和泉市幸地区を見学しました。



誰もが豊かに生きられるまちづくり

泉北ほっとけないネットワークと交流

泉北ニュータウンの榎塚台地区でも高齢化が進行し、一人暮らし高齢者や障がい者など「要援護者」が地域で安心して暮らし続けるための仕組みづくりが課題となっていました。

こうした課題を解決するため、NPO 法人すまいるセンターが中心となり、「泉北ほっとけないネットワーク」を組織。2010年に国土交通省の「高齢者等居住安定化推進事業」採択を受けてまちづくりを推進してきました。

府営住宅内の高齢者生活支援住宅を見学

榎塚台に開設された高齢者生活支援住宅は7室。高齢入居者のショートステイの役割を担っています。

昼は、近隣センター空き店舗を活用したコミュニティレストランのお弁当(1食500円)を美味しくいただきました。

地域支え合い事業

和泉市幸・王子まちづくり協議会

和泉市幸地区では高齢者の居場所づくり事業として市営住宅を活用した「すこやかリビング」「シルバースペース」等を見学しました。

両地区とも、高齢化率が30%を超え、地域福祉課題が明確になる中で、地域のネットワーク力で「ふれあい」「助け合い」の仕組みづくりを構築していこうとする住民組織の存在が光っていました



アートワークショップ(12.2)

井出正夫社会福祉協議会会長らもご来場し、励ましをいただきました。三日間で一九八名、重度障がい児サポート教室、府立高槻支援学校の生徒さん、サニースポットの利用者らもご来場いただきました。



予想を超える41組の親子が参加して、「松ぼっくりでクリスマスツリーをつくろう」「紙ロケットを作って飛ばそう」に挑戦。きれいなツリーが出来ました。
創作作品販売(12.2)
成安造形大学学生さんによる創作作品販売も行いました。



ボードレスアートフェスタへのご来場ありがとうございました！

昨年、十二月に開催したボードレスアートフェスタ「わんだーぼつくす」には約三百名のご参加をいただき、盛況のうちに終えることが出来ました。
アンケートでも「大変良かった」との感想を多くいただき、大変、勇気づけられました。

わんだーぼつくす受講生とビッグアーティスト展(12.2)も

濱田剛史市長、一瀬武教育長、

2013年度社員総会を開催しました

3月22日に設立発起人総会后初めてとなる社員(正会員)総会を開催し、2013年度事業計画・予算案を承認決議しました。以下、事業計画の要旨です。



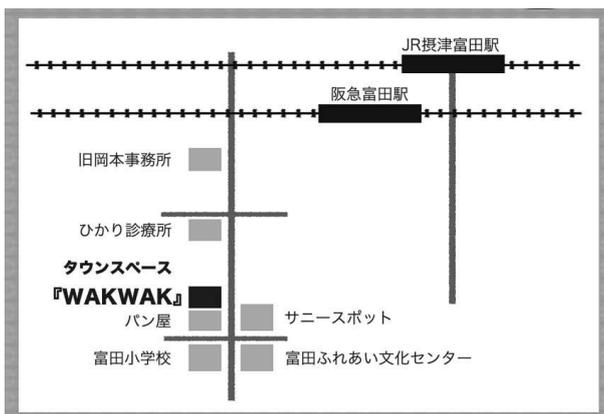
2013年度事業計画

1. 地域福祉グランドデザインづくり事業を促進します

- ☺高槻市住宅マスタープラン(2011年3月策定)による富寿栄住宅全面建替方針を受け、関係機関との協議促進。
- ☺自治会組織と連携しながら「富田まち・くらしづくりネットワーク」の活性化と再構築と地元アクションを促進していきます。

2. 「すべての人に居場所と出番」がある社会をめざします

- ☺ボードレスアート教室「わんだーぼっくす」の毎月土の2回開催。「市民と行政との協働応援事業」としてアート展を開催します(12月予定)。
- ☺地域福祉のラウンドテーブルづくりへオープンカフェ活用の検討もおすすめ。



3. 地域支え合い(ひとりぐらし高齢者・障がい者・若者支援)事業を推進します

地域支え合い事業

- ☺社福つながり「高齢者配食事業」利用者拡大を通じて、高齢者・障がい者世帯の困りごと(ニーズ)の集約と家事代行支援サービスのスタートへむけ、ボランティア登録を推進します。

ライフサポート事業

- ☺ひとりぐらし高齢者、親亡き後の障がい児者の財産管理や権利擁護のための生活支援・相談事業を行うと共に、市民後見人の活動支援をすすめます。

障がい者ケアホーム整備事業

- ☺社福つながり・つながり後援会家族会ひだまりと協働で、富田地域でのケアホーム整備事業を促進します。
- ☺その他、青少年・子育て支援事業、人材育成、メディア・リテラシー推進事業にも取り組みます。



会員継続と会費のお願い

正会員になると社員として総会議決権を持ちます。広く活動を支援いただける方は賛助会員として入会いただけます。

正会員 (団体) 1万円 (個人) 5千円
 賛助会員 (団体) 1万円 (個人) 1千円

いずれも年額(1口)です。入会手続き(継続含む)と会費納入は同封の振替用紙をご利用ください。